建築・建築家を目指す

家政学部　住居学科　建築デザイン専攻　　履修モデル

建物の計画・設計に携わりたい

概要　設計事務所や大手建設会社設計部などで様々な建物の設計や内外装のデザインなどの仕事に就きたい人のための履修モデルです。建築士資格の取得に必要な基礎的な知識と設計デザイン能力を高めるための設計実技系の授業をバランスよく履修していきます。

主な進路(就職・進学)

設計事務所、建設会社（ゼネコン）設計部、住宅メーカー（設計・技術職）、大学院（計画・意匠系）など

科目区分		1年次 科目名	1年次 単位数	2年次 科目名	2年次 単位数	3年次 科目名	3年次 単位数	4年次 科目名	4年次 単位数	計
教養特別講義		教養特別講義１	1	教養特別講義２－Ⅰ	0.5	教養特別講義２－Ⅱ	0.5			2
基礎科目	外国語（英語）	プレゼンテーション・イングリッシュa プレゼンテーション・イングリッシュb アクティヴ・イングリッシュa アクティヴ・イングリッシュb	2 2 2 2							8
基礎科目	情報処理	基礎情報処理	2							2
基礎科目	身体運動	身体運動Ⅰa 身体運動Ⅰb	1 1							2
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く		A　ヨーロッパ研究 B　コンピュータサイエンス B　物理学が拓いた世界 C　数学と人間	2 2 2 2	B　脳と行動 C　数学と自然	2 2					12
学部共通科目		人間と生活	2	家庭管理論 家族関係論	2 2					6
学科科目	共通	専門科目への導入としての基礎的な科目で構成されています。生活者の視点を基本に置きながら、空間デザイン基礎や基礎製図などのデザイン・設計系の科目から構造などの技術的な科目まで多岐にわたる科目があります。 基礎数学 基礎物理 住居構造 力と形 日本住居史 西洋住居史 住居計画 図学 基礎製図Ⅰ 基礎製図Ⅱ	2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	前期は1年次同様に基礎的な共通科目を学びますが、後期にはより専門性の高い科目を学びます。 住生活および建築環境に関わるさまざまな問題を理解し、知識を広めます。 構造力学1 住生活学 住居環境 建築設備Ⅰ 建築材料 コンピュータデザインⅠ 設計製図 構造力学2	2 2 2 2 2 2 2 2	2年次の専門的な科目での理解に加えて、それらを分析し、創造的に建築空間をデザインする力を身につけます。 各人の興味と適性に対応した多彩な科目が開講されています。 建築構法 建築施工 建築法規	2 2 2	専門性の高い科目と4年間の集大成としての卒業論文・卒業制作から構成されています。 卒業論文・卒業制作では、それぞれの学生が独自の視点から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組みます。		44
学科科目	専門科目	空間デザイン基礎	1	建築計画 建築構造 建築設計Ⅰ	2 2 2	建築環境工学 都市計画 近代建築デザイン論 建築設備Ⅱ 建築と社会 構造・材料実験 調査分析法 建築設計Ⅱ コンピュータデザインⅡ 建築総合演習ⅠまたはⅡ 建築設計Ⅲ インテリアデザイン 構造デザイン ランドスケープデザイン 環境・設備演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	建築設計Ⅳ	3	35
学科科目	関連科目			バリアフリーデザイン論 住居安全情報論	2 2	地域施設計画論	2			6
学科科目	その他					住居学演習Ⅰ	2	住居学演習Ⅱ 卒業論文・卒業制作	4 4	10
自由選択科目						ユニバーサルデザイン論	2			2
資格・キャリア関係科目等	教職課程等									0
	単位数		45		34.5		38.5		11	129

(　)内は卒業要件に含まれない単位数

緑色の科目名は推奨授業科目

建築・公務員を目指す

家政学部　住居学科　建築デザイン専攻　　履修モデル

建築行政やまちづくり行政に関わり、政策立案などに参画したい

概要 地域の住環境改善にかかわる様々な業務を公務員や都市コンサルタントとして携わりたいと考えている人のためのモデルです。政策や地域経済の他にも環境・設備・構造・福祉など広く専門的な知識が求められます。また、建築士資格の他に技術士（あるいは技術士補）の資格が有効な職域でもあります。

主な進路(就職・進学)

公務員・都市コンサルタント他・大学院（都市計画系・研究全般）

科目区分		1年次 科目名	1年次 単位数	2年次 科目名	2年次 単位数	3年次 科目名	3年次 単位数	4年次 科目名	4年次 単位数	計
教養特別講義		教養特別講義１	1	教養特別講義２－Ⅰ	0.5	教養特別講義２－Ⅱ	0.5			2
基礎科目	外国語（英語）	プレゼンテーション・イングリッシュa プレゼンテーション・イングリッシュb アクティヴ・イングリッシュa アクティヴ・イングリッシュb	2 2 2 2							8
基礎科目	情報処理	基礎情報処理	2							2
基礎科目	身体運動	身体運動Ⅰa 身体運動Ⅰb	1 1							2
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く		A　法律とは何か B　コンピュータサイエンス B　物理学が拓いた世界 C　数学と人間	2 2 2 2	B　現代社会と情報科学 C　数学の歴史	2 2					12
学部共通科目		人間と生活	2	家庭管理論 家族関係論	2 2					6
学科科目	共通	専門科目への導入としての基礎的な科目で構成されています。生活者の視点を基本に置きながら、空間デザイン基礎や基礎製図などのデザイン・設計系の科目から構造などの技術的な科目まで多岐にわたる科目があります。 基礎数学 基礎物理 住居構造 力と形 日本住居史 西洋住居史 住居計画 図学 基礎製図Ⅰ 基礎製図Ⅱ	2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	前期は1年次同様に基礎的な共通科目を学びますが、後期にはより専門性の高い科目を学びます。 住生活および建築環境に関わるさまざまな問題を理解し、知識を広めます。 構造力学1 住生活学 住居環境 建築設備Ⅰ 建築材料 コンピュータデザインⅠ 設計製図 構造力学2	2 2 2 2 2 2 2 2	2年次の専門的な科目での理解に加えて、それらを分析し、創造的に建築空間をデザインする力を身につけます。 各人の興味と適性に対応した多彩な科目が開講されています。 建築構法 建築施工 建築法規	2 2 2	専門性の高い科目と4年間の集大成としての卒業論文・卒業制作から構成されています。 卒業論文・卒業制作では、それぞれの学生が独自の視点から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組みます。		44
学科科目	専門科目	空間デザイン基礎	1	建築計画 建築構造 建築設計Ⅰ	2 2 2	建築環境工学 都市計画 近代建築デザイン論 建築設備Ⅱ 建築と社会 構造・材料実験 調査分析法 建築設計Ⅱ コンピュータデザインⅡ 建築総合演習ⅠまたはⅡ 環境・設備演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4			31
学科科目	関連科目			バリアフリーデザイン論 住環境計画 住宅政策	2 2 2	福祉環境論 地域施設計画論 住宅経済	2 2 2			12
学科科目	その他					住居学演習Ⅰ	2	住居学演習Ⅱ 卒業論文・卒業制作	4 4	10
自由選択科目						構造デザイン	2			2
資格・キャリア関係科目等	教職課程等									0
	単位数		46		36.5		40.5		8	131

（　）内は卒業要件に含まれない単位数

緑色の科目名は推奨授業科目

建築・ 都市開発系を目指す

家政学部　住居学科　建築デザイン専攻　　履修モデル

都市計画、都市開発の視点から住環境にかかわりたい

概要 再開発や地域計画など都市計画的な立場から住環境にかかわることを目指したいと考えている人のためのモデルです。計画・開発に携わる立場として、建築が周辺環境に与える物理的また経済的影響に対する配慮や計画される施設の安全性など品質の確保についての知識と責任が要求されます。

主な進路(就職・進学)

不動産関係、鉄道関係、ハウスメーカー（企画・営業）、大学院（都市計画系）など

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養特別講義		教養特別講義1	1	教養特別講義2－Ⅰ	0.5	教養特別講義2－Ⅱ	0.5			2
基礎科目	外国語（英語）	プレゼンテーション・イングリッシュa プレゼンテーション・イングリッシュb アクティヴ・イングリッシュa アクティヴ・イングリッシュb	2 2 2 2							8
基礎科目	情報処理	基礎情報処理	2							2
基礎科目	身体運動	身体運動Ⅰa 身体運動Ⅰb	1 1							2
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く		A　日本経済 B　天文学と宇宙観の歴史 B　物理学が拓いた世界 C　数学と人間	2 2 2 2	A　環太平洋研究 C　数学と自然	2 2					12
学部共通科目		人間と生活	2	家庭管理論 家族関係論	2 2					6
学科科目	共通	専門科目への導入としての基礎的な科目で構成されています。生活者の視点を基本に置きながら、空間デザイン基礎や基礎製図などのデザイン・設計系の科目から構造などの技術的な科目まで多岐にわたる科目があります。 基礎数学 基礎物理 住居構造 力と形 日本住居史 西洋住居史 住居計画 図学 基礎製図Ⅰ 基礎製図Ⅱ	2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	前期は1年次同様に基礎的な共通科目を学びますが、後期にはより専門性の高い科目を学びます。住生活および建築環境に関わるさまざまな問題を理解し、知識を広めます。 構造力学1 住生活学 住居環境 建築設備Ⅰ 建築材料 コンピュータデザインⅠ 設計製図 構造力学2	2 2 2 2 2 2 2 2	2年次の専門的な科目での理解に加えて、それらを分析し、創造的に建築空間をデザインする力を身につけます。各人の興味と適性に対応した多彩な科目が開講されています。 建築構法 建築施工 建築法規	2 2 2	専門性の高い科目と4年間の集大成としての卒業論文・卒業制作から構成されています。卒業論文・卒業制作では、それぞれの学生が独自の視点から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組みます。		44
学科科目	専門科目	空間デザイン基礎	1	建築計画 建築構造 建築設計Ⅰ 日本建築史 西洋建築史	2 2 2 2 2	建築環境工学 都市計画 近代建築デザイン論 建築設備Ⅱ 建築と社会 構造・材料実験 調査分析法 建築設計Ⅱ コンピュータデザインⅡ 建築総合演習ⅠまたはⅡ ランドスケープデザイン	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			33
学科科目	関連科目			消費生活論Ⅰ 住環境計画 バリアフリーデザイン論 住宅政策	2 2 2 2	地域施設計画論 住居安全情報論 住宅経済	2 2 2			14
学科科目	その他					住居学演習Ⅰ	2	住居学演習Ⅱ 卒業論文・卒業制作	4 4	10
自由選択科目						構造デザイン	2			2
資格・キャリア関係科目等	教職課程等									0
	単位数		46		42.5		38.5		8	135

（　）内は卒業要件に含まれない単位数

緑色の科目名は推奨授業科目